

# ていり 市議会だより

■発行:天理市議会  
■編集:議会広報編集委員会  
<http://www.tenri-gikai.jp/>

〒632-8555  
天理市川原城町605  
TEL.0743-63-1001  
FAX.0743-63-4502

## No.40

2007年 5月15日



山の辺の道沿いに建つ長岳寺は、弘法大師の創建と伝えられる古寺で、日本最古の鐘樓門があります。その門をくぐった広い庭には平戸つつじの生垣、垣根越しのオオテマリ。ここ池の傍には、カキツバタが見事に咲き乱れ、新緑の輝きとともに花の香りが境内を包んでいました。

暖かい春の一日に、花の寺『長岳寺』で静かなときの流れを感じてみてはいかがでしょうか。

### CONTENTS

3月定例会	2
予算審査特別委員会	3
委員会審査の概要	4~5
一般質問ほか	5~7
新議員の紹介	7
とびくすほか	8

# 3月定例会

## 平成19年度予算決まる

平成19年第1回定例会は3月1日に開会し、新年度予算案をはじめ条例改正案など多数の重要案件の審議を行い、すべて原案どおり可決し、15日閉会しました。

1日の本会議では、会期を16日までの16日間と決めた後、議事日程に入り閉会中の継続審査となっていた安全・安心のまちづくり推進特別委員会の報告を行いました。

続いて、報告、承認案が上程され、いずれも原案どおり承認しました。

次に、市長から18年度補正予算、19年度当初予算並



びに条例等の32議案の提案説明及び19年度における市政運営の基本姿勢と展望についての所信表明を受け、1日目を散会しました。

5日に再開された本会議では、2人の議員からの一般質問に続き、上程された32議案を各常任委員会に付託しました。また、19年度一般会計予算など9会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、審査することとし2日目を散会しました。

6日から12日までの間に開かれた各常任委員会及び予算審査特別委員会では、それぞれ付託された議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

再開された15日の本会議では、1会派からの代表質問及び2人の議員からの一

般質問に続き、各常任委員会及び予算審査特別委員会に付託された32議案について、それぞれ委員長より報告があり、2議員から討論通告1件（19年度一般会計予算）うち1議員から3件（19年度天理市大和都市計画下水道事業特別会計予算、学童保育条例の一部改正、下水道条例の一部改正）の反対討論があり、採決の結果、いずれも原案どおり可決しました。

続いて、固定資産評価員の同意案が上程され、副市長の福井常夫氏を選任同意しました。

次に、天理市議会会議規則の一部改正するための発議案及び決議案1件（8Pに要旨掲載）が上程され、いずれも原案どおり可決し、本定例会を閉会しました。

## 安全・安心のまちづくり推進特別委員会（委員長報告）要旨

防災ガイドマップづくりについては、大規模災害発生時に機能するために天理市建設業協会、イオン株式会社ジャスコスーパーセンター天理店とそれぞれ協定をすでに締結し、天理教教会本部ほか各種企業と協働するため協議が進められています。さらに防災協力事業所登録制度の導入を進められていますが、登録業者への募集には、市より積極的に働きかけるよう、また防災行政無線の整備にあたっては、携帯型の無線など喫緊の課題として捉え、構築に向け努められるよう要望いたしておきます。

また、実践的な役割が果たせる自主防災組織の立上げに各校区にモデル組織を作り、三年後、百組織整備に向けて取り組まれています。自主防災意識を高めるため、積極的な講習会への参加を呼びかけるとともに婦人防災クラブ、消防団等を中心にボランティアリーダーの育成を図るための講習会を開催し、災害時に機能する組織の構築を図っていただくよう要望いたしておきます。さらに、子どもたちへの防災教育の学習と防災マニュアルについても併せて学校内で整備されるようにとの意見が出されたのであります。

次に、**防災ボランティア組織の構築**については、「天理市安全・安心ボランティア活動連絡会議」が設置され、各校区安全部会の合同開催等安全・安心ボランティア相互の

連携と活動の促進を図られるとのこと。また、市民を対象とした防犯メール配信制度の導入に向け、平成19年度予算に計上し、今議会に提案されることですが、今後は、地域住民による自主防犯活動や防犯意識の高揚を図り、併せて情報の発信には万全を期されるよう要望いたしておきます。

次に、**子どもたちの視点での地域安全マップづくり**については、児童・生徒が主体となって総合的な学習の時間などを活用しながら作成する「安全マップ」とPTAや安全ボランティア等の登下校指導・立哨指導、安全パトロール等で活用できる「共有マップ」を作成されたところですが、今後定期的に更新されることも踏まえ、十分検討を重ねられ、より安全で実効性のあるマップとなるよう要望いたしておきます。

最後に、**コミュニティバスの導入**については、平成20年度中の試行運行開始に向け、準備作業を進められており、事前調査経費として平成19年度予算に計上し、今議会に提案されること。さらに、「地域公共交通会議」（案）を設置予定ですが、より多くの方々の意見が反映する会議とし、生活の利便性向上に関係機関が一体となった取り組みを図られるよう要望いたしておきます。



平成19年度  
予 算

一般会計228億5千万円  
総額は492億7千万円

会計別当初予算額

(単位：千円，%)

会 計 名	平成19年度	平成18年度	比較増減	増減率	
一 般 会 計	22,850,000	23,580,000	△730,000	△3.1	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	6,609,700	5,802,700	807,000	13.9
	介 護 保 険	3,293,500	3,309,800	△ 16,300	△0.5
	老 人 保 健	4,871,400	4,981,000	△109,600	△2.2
	大和都市計画下水道事業	4,611,600	5,092,500	△480,900	△9.4
	住宅新築資金等貸付金	62,300	65,700	△ 3,400	△5.2
	公共用地取得事業	0	38,251	△ 38,251	皆減
	土地区画整理事業	86,800	0	86,800	皆増
	特別会計小計	19,535,300	19,289,951	245,349	1.3
企 業 会 計	市立病院事業	2,251,603	2,289,329	△ 37,726	△1.6
	水道事業	4,636,426	4,580,403	56,023	1.2
	企業会計小計	6,888,029	6,869,732	18,297	0.3
合 計	49,273,329	49,739,683	△466,354	△0.9	

予算審査  
特別委員会委員

◎委員長  
○副委員長

◎三橋保長  
○寺井正則  
中 西 朗  
加 藤 嘉久次  
今 西 康世  
東 田 匡弘  
廣 井 洋司  
北 田 利光  
大 橋 基之

意見・要望

- ◎移動通信用鉄塔施設整備工事費は他4地域も順次整備を図られるようとの意見。
- ◎各学校で作成された安全マップを参考に危険箇所への設置等、通学路で防犯灯の必要な箇所については設置されるよう要望。
- ◎駅前駐車場は極めて公共性が高く、より多くの市民が利用できる料金体系に検討されるよう要望。
- ◎住民票等自動交付機の利用を多くの市民に周知徹底されるようとの意見。
- ◎不動産鑑定業務、公園清掃管理委託等の契約は公正性、透明性を保ち、やむを得ない場合を除き競争入札で執行されるようとの意見。
- ◎農作物を荒らす有害動物対策については農業の振興、農業意欲を損なわないためにも適切に対策を講じられるよう要望。
- ◎本物の舞台芸術体験を通

- し感受性豊かな青少年の心の教育、情操教育の向上に努められるよう要望。
- ◎貸出し図書の返却については地域の公民館での返却を検討されるよう要望。
- ◎下水道未整備地域住民に対し、今後事業計画の周知を図り、水洗化率の一層の向上に啓発されるよう要望。
- ◎市立病院に医療機器を新たに導入され、診療体制を整えられたとのことであるが、院内施設が老朽化等により破損した箇所を再点検し早急に対処され、市民から親しまれ信頼される病院を目指すとともに、より一層医療の充実に努められるよう要望。
- ◎市民に安全で安心できるおいしい水の供給をされるとともに災害時のライフラインの確保には万全を期されるよう要望。



# 常任委員会審査の概要

## 文教民生委員会

### 可決された議案

●平成18年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

「内容」歳入歳出ともに15万2千円の減額。歳出の内容は介護認定審査会費で、歳入は他会計繰入金で充当。

●学童保育条例の一部改正  
「内容」前裁学童保育所の分割、朝和学童保育所の移転及び山の辺学童保育所の新設並びに保育料の改定を行うもの。

●乳幼児医療費助成条例の一部改正  
「内容」現在4歳児から6歳児までは入院に係る医療費のみを助成の対象としていたが今回、通院に係る医療費まで助成するもの。  
●市立幼稚園の入園料及び保育料の徴収に関する条例

の一部改正

「内容」幼稚園の入園料及び保育料の減免額を小学校1年生から2年生までの兄弟のいる世帯まで優遇措置を拡大するもの。

●土地の取得  
「内容」土地開発公社保有の用地を取得するもの。

### 意見・要望

◎乳幼児医療費助成制度の理解を対象者へ周知徹底されるよう要望。

◎入園料等、より一層保育サービスの向上に努められるよう要望。

## 市民経済委員会

### 可決された議案

●平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

「内容」歳入歳出ともに161万7千円の減額。歳出の内容は共同事業拠出金で、歳入は共同事業交付金等で

充当。

●平成18年度住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算(第2号)

「内容」歳入の一般会計繰入金を減額し、歳入財源の調整を行うもの。

●平成18年度市立病院事業会計補正予算(第1号)

「内容」入院・外来患者の減少による医業収益の減と一般会計補助金等の医業外収益の増との調整により1億924万9千円の減額。

## 建設水道委員会

### 可決された議案

●平成18年度大和都市計画下水道事業特別会計補正予算(第2号)

「内容」歳入歳出ともに1千628万9千円の減額。

歳出の内容は下水道事業費等で、歳入は繰越金等で充当。

●水洗便所改造資金貸付基金条例の一部改正

「内容」下水道普及率が90%まで近づき、改造資金の

貸付額も減少傾向のため基金を減額するもの。

●市営住宅条例の一部改正

「内容」入居者の選考方法は一層の公平性を期するため公開抽選とし、入居資格の関係書類の提出を抽選後とし、応募者の負担を軽減するもの。

●下水道条例の一部改正

「内容」下水道料金の受益者負担の適正化と下水道財政の健全化を図るため、使用料を増額するもの。

●農業集落排水処理施設条例の一部改正

「内容」福住地区処理施設の供用開始に伴い、同施設を条例に規定するもの。



●大和郡山市道の本市行政区内への設置

「内容」市道拡幅のため。

●市道路線の変更

「内容」2路線の起点、終点を変更するもの。

### 意見・要望

◎市民の所得額や消費支出が減少している中で、下水道財政の健全化を図り、安定した下水道サービスを提

## 総務財政委員会

### 可決された議案

●平成18年度一般会計補正予算(第6号)

「内容」歳入歳出ともに1億8千11万9千円の増額。歳出の内容は、職員の早期退職に伴う退職手当、二階堂校区の小規模多機能型居宅介護施設設置補助金及び市立病院事業会計繰出金等で、歳入は国庫支出金、市税、繰越金等で充当。

●行政組織条例の一部改正  
「内容」平成19年度から新規に実施する地籍調査事業



については建設部で所管し、入札業務に係る組織の改編等に関し、所要の規定を整備するもの。

●職員定数条例の一部改正  
「内容」職員数の削減により本条例の定数と実際の職員数との開きが大きくなったことに伴い定数の見直しを図るもの。

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
「内容」国に準じ、休息時間を廃止するもの。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

「内容」扶養手当、管理職手当等、所要の規定を整備するもの。

●一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正  
「内容」在職期間中の貢献度をよりの確に反映できるように、また地方独立法人等との人事交流による在職期間を通算するなど国に準じた措置を講じるもの。

●特別会計条例の一部改正  
「内容」山の辺第一工区土地地区画整理事業の施行に伴

い、平成19年度から特別会計を設けるとともに、公共用地取得事業特別会計を廃止するもの。

●用品調達基金条例の廃止  
「内容」事務用品等、集中管理してきたものを用品の多種多様化に伴い、所管課で直接購入するケースが増えたことで基金を廃止するもの。

### 意見・要望

◎職員数削減により、市民サービスの低下を招かないよう努力方を要望。

## 一般質問(要旨)

今定例会では、会派代表質問を含め、4名の議員が一般質問を行いました。ここにその要旨を掲載します。詳細は、ホームページをご覧ください。

なお、今号から質問者の氏名と答弁者名を掲載することになりました。

会派「クリエーティブ天理」

寺井 正則 議員

### 行財政改革や生活基盤整備の現状と課題について

問 平成19年度予算編成にあたって苦労したことは。

答 三位一体改革の実施の年であり、集中回復プランを実施すると共に、重点施策七項目の実現に向けた予算編成とした。今後も職員一丸となり、行政運営をやり遂げなければならない。

(総務部長)

問 今後の課題や財政見通しは。

答 福住の工業団地用地等をできれば今年度から毎年約二億円ずつ買戻すなかで、今後は各種基金に極力頼らない予算編成に努め、行財政改革を進めながら持続可能な安定した財政運営を図りたい。

(市長)

問 道路整備、公共下水道

・水道事業の現状と課題は。

答 都市計画道路は36路線

延長約78km、改良率は平成18年3月末には約67%になり、現在、勾田樺本線、別所丹波市線、北大路線などの継続路線の事業を進めており、随時整備していきたい。

公共下水道の整備状況は、人口普及率が19年2月で約94%に達しようとしている今回、やむをえず下水道使用料金の改定を行ったが、より一層の健全経営に努力したい。

(建設部長)

水道事業については、近年飲料水の水道離れなど給水量の減少傾向が続いている。特に、樺本町のS事業拠点が三重県亀山に移転したことが、給水収益に大きな影響を与えている。

また、東部山間地区の開発事業も中断し、当該地区における水道事業収支は毎年2億円程度の損失が出ており、財政状況はますます厳しくなるので、効率的な営業の合理化を進め、職員一丸となって企業努力に取り組んでいる。(水道局長)

問 コミュニティバス運行は、交通格差解消や利便性向上のために、是非やり遂げてほしいが。

答 20年度からの試行運行のための準備費用を計上している。住民アンケートの実施や、地域公共交通会議も立ち上げながら、真に利便性が高いバス運行計画を策定し、実現に向けて取り組んでいく。

(市長)

問 技能労務職員の事務職への職種変更試験が行われたが、その結果は。

答 満53歳未満の技能労務職員61名のうち、受験申し込み者14名に対し1次・2次試験を実施し、最終的に男性3名、女性2名が合格。今秋にも試験を重ね、合格した者を20年4月から事務職へ変更しようと考えている。

(市長)

### 妊産婦無料健康検診の拡充について

問 保険が適用されない検診の無料受診回数を厚生労働省が示す5回に拡充する考えは。

**答** 19年度からは、3回まで拡充して助成を行うこととし、今後も検討したい。

(健康福祉部長)

### 特別支援教育について

**問** 本市における発達障害者(LD・ADHD・高機能自閉症など)の現状と教職員の研修や特別支援教育コーディネーターの養成、個別の指導計画、保護者との相談体制への取り組みは。

**答** 特別支援教育における発達障害児の割合は、本市も全国と同程度の6.3%であり、教職員の研修は子ども一人一人のニーズに応じた適切な支援ができるよう、教職員の資質向上に向けて研修を行っている。

コーディネーターの養成は18年度はフォローアップ研修講座が開催され、各小・中学校の教員が受講した。また、幼稚園でも養成講座が開催されている。

個別の指導計画は、確かな実態把握に基づいた計画を作成することが必要であ

り、園・学校全体で適切な支援を行いたい。保護者との相談体制は、教育総合センターで17年度より特別支援教育相談を始めており、さらに充実を図りたい。

(教育次長)

### 視覚障害者向けの情報バリアフリーの促進

**問** 点字利用者がわずか10%の視覚障害者のために、年金通知などの個人向け情報や、行政の各種広報印刷物などに音声コードや、活字文書読み上げ装置を導入する考えは。

**答** 多くの視覚障害者の方々が購入され、初めて広く普及するので、その団体とも十分に協議し、今後検討していきたい。

(健康福祉部長)

### 松井真理子 議員

### 男女共同参画社会について

**問** 男女共同参画社会に對

する市長の考えは。

**答** 一人一人が充実した豊かな生活を営んでいくためにも、女性と男性が等しく個人として尊重され、あらゆる場において、ともに責任を担いながら個性と能力を発揮することができ男女共同参画社会のまちづくりを着実に進めていきたい。

(市長)

**問** 男女共同参画の進捗状況と今後のビジョンは。

**答** 17年の機構改革で、今まで教育中心であった分野から、労働・福祉の分野へと横断的に、具体的なものとした。

「かがやきプラン21」の基本理念は人権尊重・男女共同参画社会の実現・固定的な性別役割分担意識の改革という三つの柱とし、基本目標は「意識を変える、仕組みを変える、社会基盤を変える」と設定した。

「男女共同参画プラザ」では、男女ともに参加できる講座・研修等を開催し、新たに男性も対象とした事業

も取り入れ、展開している。「かがやきプラン21」は、問題解決の基本は心の問題、意識の問題であるという認識に立ち、地道に着実に推進していく。

「男女共同参画社会基本条例を制定しては」との考えには、基礎の部分ができている中で施行することについては、いかがなものかと考えている。

「かがやきフェスティバル」は、女性リーダーの養成や企画運営能力を発揮する大切な機会であり、年々その成果を高めてきている。女性職員の登用は、14年



から自己申告制度を採用している。本人の能力・資質・意欲を考え、各種職員研修を実施し、職員の育成、資質向上にさらに力を入れていきたい。また、女性の外部委員登用も着実に進んでいる。

(市長)

### 荻原 文明 議員

### 国民健康保険証の発行について

**問** 国民健康保険の資格証明書と短期保険証の発行は国保制度の土台を掘り崩すものである。資格証明書では病院窓口で全額自己負担となるため、全国的に、受診が遅れて重症化し、命を落とすきっかけとなっている方も多数いる。正規の保険証の発行を求めるが。

**答** 国保制度は、お互いが保険料を出し合い病気や事故に備える相互扶助の保険である。国保財政の健全運営、被保険者間の負担の公平を図るため、「特別な事



# 新議員誕生 (定数20、50音順、敬称略)

菅野 茂	佐々岡典雅	北田 利光	加藤嘉久次	萩原 文明	岡部 哲雄	大橋 基之	榎堀 秀樹	今西 康世	飯田 和男
吉井 猛	三橋 保長	松井真理子	堀田 佳照	廣井 洋司	平井 守	東田 匡弘	西辻 正美	中田 景士	寺井 正則

## パブリックコメントについて

問 行政手続法の一部が改

情」がなく国保料を滞納している人に対しては、被保険者証を交付せず、従来どおり短期被保険者証、資格証明書を発行していきたい。(市民部長)

正され、パブリックコメント(意見公募手続)条項が追加された。住民自治のもとで自治体が政策決定を行う時に、市民参加と意思形成過程情報の公開は欠くことのできない重要な意義を持つている。行政の公正の確保と透明性の向上を図るため、パブリックコメント

制度の早期導入が必要であると考えるが。

答 パブリックコメント制度は、行政運営における公正の確保と透明性の向上に加えて、市民との協働のまちづくりを進める観点からも、必要な制度であると認識している。

今後、市民が主体的に参加できる市政を推進するために、市民参加のあり方について、パブリックコメント条例を積極的に、研究、検討していきたい。(市長)

## 平井 守 議員

### 田町のガス製造所跡地の売却方法と工場建設等の問題点について

問 土地の売却が事務方の予定外に発生したものであり、かつ事務方の責任を離れたところで作りだされた政治マターではないのか。

答 ガス跡地の売り渡しに政治的な配慮はしておらず、政治マターではない。あの

土地の性格上、公募せずに地縁の信頼のおける人に適正な価格で譲渡しようとした結果である。(市長)

問 跡地について、ある宗教学法人の詰所が駐車場として利用していたが、有償にせず、短期間の貸出し状態にしていたのは、いつでも他者に売り払えるようになるための手段としてなのか。

答 特定の団体や継続的な使用ではなく、詰所と民間企業や地域の不幸事の時にどに随時、無償で貸出している。(市長)

問 公文書の中で、土地購入後の使用目的に関して、詰所の方は駐車場にという記述があるが、企業の方の記述が欠落している。これは不自然である。

答 欠落云々というよりも、売却し条件を遵守してくれ、相手を信用して売り渡した契約である。(市長)

問 去年の3月に当該土地を買った企業が5月には工場建設の設計図を持って市に事前協議に来た。そして、

今建設中であり、間もなく利益を生み出すための2階建ての工場が建ってしまった。この状況を見て、時価の約6割の値段で売却してしまったことに對して、何らかの責任を感じないのか。

答 専門の不動産鑑定会社が妥当だと示してくれた価格の上限をとったものなので、真つ直ぐに事務を進めたと確信している。(市長)

問 クリーニング工場はテトラクロロエチレンなどの揮発性有機化合物が使われるから公害を作りだしやすいため、水質汚濁防止法や下水道法等で規制されているが、各法に基づく指導をきちんとしているのか。

答 法の規定に基づいて指導している。完成時には、郡山保健所と本市で施設の現場確認を実施する予定である。今後は年4回の水質検査を実施し、適正に指導を行っていく。(環境経済部長)

(注) 関心が極めて高い政治問題

# とびっくす TOPICS

春のやわらかな陽ざしのなか、4月2日、社会福祉協議会の事務所開き式がとり行われました。これまで本庁にありましたが、田井庄町の旧八剣公民館跡に移転し、市長、廣井副議長らが出席し、テープカットをはじめ、式典をお祝いしました。



また、4月6日には、御経野コミュニティセンターの改修工事が終わり、竣工式を迎え市長、北田議長らが式典に出席し、子どもたちとともに喜びを分かちあっていました。

## 市議会の主な動き

### 2 月

- 19日 安全・安心のまちづくり推進特別委員会
- 22日 議会運営委員会

### 3 月

- 1日 定例会開会
- 5日 定例会再開
- 6日 文教民生委員会
- 7日 市民経済委員会
- 8日 建設水道委員会
- 9日 総務財政委員会
- 12日 予算審査特別委員会
- 15日 定例会再開、閉会
- " 議会広報編集委員会

### 4 月

- 6日 議会広報編集委員会
- 13日 近畿市議会議長会総会
- " 議会広報編集委員会
- 22日 市議会議員選挙投票

### 5 月

- 1日 新議員説明会

## 医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書（要旨）

近年、全国的に小児科や産婦人科などにおける医師不足が深刻な問題となっている。地域住民が安心して生活するためには、救急医療や産婦人科・小児科医療など必要な医療サービスをいつでも利用できることが重要であり、こうした医師不足問題の解消は喫緊の課題である。

医師不足の解消に向け、医療機関の集約化や魅力ある研修病院の整備、病院間連携体制の整備、小児救急での電話相談窓口の整備など様々な努力を進めているが、安心できる地域医療体制の整備に向けて国においても引き続き積極的な取り組みを進める必要がある。また、看護師や助産師の不足も同様に重要な課題となっている。

以上のことから、政府におかれましては、下記の事項について要望する。

記

1. 地域医療の再構築に向け、総合的なビジョンを早急に策定すること
2. 救急医療体制の整備・維持、周産期医療体制の整備・維持のための支援策の拡充を図ること
3. 小児科医療等の医師不足が指摘される科目の診療報酬の抜本的な見直しを図ること
4. 公的病院の診療体制の強化を図るため、集約化への取り組みの支援策を拡充すること。また中核病院と地域医療機関の連携を強化するための対策を講じること
5. 臨床研修制度のあり方について検討を行い、前期・後期臨床研修において、地域医療への従事が適切に確保できるよう取り組みを進めること
6. 医科系大学の定員における地域枠の拡大を図るとともに、奨学金制度の充実など地元への定着を進めるための施策の充実を図ること
7. 院内保育の確保や女性医師バンクの充実など、女性医師の仕事と生活の両立を図るための支援策を充実すること
8. 看護師、助産師の不足に対して積極的な対策を講じること
9. 小児救急の電話相談事業充実のための対策を講じること
10. 出産・分娩に係る無過失補償制度の早期創設を図ること

## 編集後記

1年が過ぎました。広報編集委員になり、早や  
のホームページの作成に自分  
が、熱心に論議し取り組ん  
だ事柄が、何かと参考になり  
ましたので、ぜひ一度ご覧だ  
さい。

・新緑の色増す季節、歴史的  
・文化的遺産が豊富なまちと  
して、山の辺の道をはじめ、  
本市を訪れる人たちの「もて  
なし」の心で迎えることも、  
温かく人にやさしいまちづく  
りに努めることで、リピータ  
ーが増え、経済の活性化へ  
にぎわいと潤いのあるまちへ  
充実発展していくことを願  
っています。

今後とも市民の皆さまの  
イブ役に努めるとともに、広  
報活動にも尽力しますので、  
ご意見、ご要望をお寄せくだ  
さい。

皆様の声を反映できるように、  
よりよい紙面づくりに努力し  
ていきます。

## お詫び

平成19年2月15日発行の「てんり市議会だより」第39号一般質問(P.6)の「環境政策について」の答弁の中で、「17年7月にごみ問題市民円卓会議を設置し」となっておりますが、「18年7月にごみ問題市民円卓会議を設置し」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。